

時事新報

月曜日并々大祭祝日の翌日等他新聞紙の休刊日に限る	一 行 五 銭	一 行 五 銭	時事新報廣告料前金
時事新報配達の求めに應ず此場合には新報代價一箇月前金八錢にして地方に郵送する分は此外より貼用する者	一 行 二 付	十二 錢	一 日 限
即ち既に代價を支拂ふ	一 行 三 付	十一 錢	二 日 以 上
前項の代價を支拂ふ	一 行 四 付	十 錢五 分	七 日 以 上

物は死して皮を留む、博覽會終りて豈に其紀念物がある可けんや千八百五十一年英國倫敦府に開いたる萬國大博覽會を以て博覽會の光明を發揮してより歐米各國年として其開會を見ざるふとさきの勢なれども規模廣大國來事業として現はれたる者は人智を開き技藝を進め農工商に舊關心を與へて千萬無形の好成蹟を留むるの外に更に有形有益の紀念物を残し後人をして永く其餘惠に潤ひ以て當時を想像せしむるの趣向あるものゝ如し例へば一千八百五十一年英國にて萬國博覽會を開會するの前には同國の工藝見る可き者なく各種の織物、金屬器物、家具、壁紙、敷物等意匠に欠點多くして高雅風流の趣すく少しく美術心ある者は去て佛蘭西、伊太利等の製品を購ひたるとなれども同年の萬國博覽會あるに際して英國諸工藝の士は自から其技術の拙劣なるを悟り其博覽會の紀念物として有名なる南ケンシントン博物館を創立し之に附屬する諸科學、美術及び専門學校を國中到る處に設置して工藝獎勵に盡力せしかば爾來英國の諸工藝は駭々として佳域に進みハーミングヘム製產の金銀器物、鐘錶工類は他國品に比して優る所甚だ多くプラットフォードの婦人服用毛織並びに紺織物、ハダスフギルドの男服地諸織物等は意匠の變化も構あるに至りたるは孰れも彼の萬國博覽會の紀念たる十分にして織方萬端申分なく其他マンナエスターの紺布、ナッサンタヘムの編物、仕上も好ければ編柄も結構なりと云ふ此等は異常の紀念物にして他よ其比例を見ざる所なりと雖も近代歐米の博覽會は次第に縱覽人の數を増し一千八百五十一年英國の博覽會縱覽人は僅々六百萬人ありしに昨年巴里の博覽會には二千八百餘萬の見物客ありし由にて年々歲々縱覽人の增加するに隨ひ會場の收入額も亦ますく増加するの勢のるが故に近年の博覽會には各國共々規模を大にし其會場の建築も従に残して有用ある部分は有名なる工學者の設計を経て堅牢百代に傳ふるふとを期し一千八百五十一年萬國博覽會の遺物として今尚ほ英國シティンヘムに存在する彼の水晶宮の如きは固より其一例なれども各國人事の進歩と共に博覽會紀念物の趣向も亦ますく新にして一千八百七十八年巴里大博覽會の折、その美術院たりしトロカデロ宮は爾後美術古器物の陳列所と爲り昨年の大博覽會に際しては之を以て會場の正門に供したりと最も壯大なるは其機械館並に彼のアイフェル塔にして

供する見込なりと云ふ斯くの如く西洋の博覧會には紀念物の後に傳はるあり然に今年我が内國博覧會は古來曾有の盛況を呈す可きよと必然あるにも拘はらず獨り其紀念物を留めざるが爲め幻華一朝消えて實あきの懐なきを得ざるは我輩の窮に惜しむ所あり但し其向の士人中には當初此邊の思附もありて今年の博覧會には其會場の建築を吟味し名ある建築家の考案を集めて一種出色の會館を設け其設計の巧あると共に之を後人より遺さんとの說ありとの事なれども當時會計上の都合もありて遂に其事を果さざりしは亦是非もなき次第、因て今其理財法を策するに本來我が政府が内國博覧會の舉あるものは全國各業獎勵の爲め多少の國庫金を抛て之れに當らんとする者あれば博覽會の総費料を以て會の所費を補はざる可らざるの必要もある可く此總覽料を一人前金十錢と見て假りより二百萬人の総覽人ありとすれば即ち二十萬圓金を掛べし扱て又當博覽會の出品人は己れの製造販賣する品類を成る可く多くの人に示し精粗優劣の評判を得て其購買心を動かんとする者なれば恰も商品の廣告場を無一絲にて借用するの都合にして爰に此博覽會に聯帶して公共の紀念物を留めんとするの相較あるに際しては他の獎勵誘導を待つず出品人中に委員を設けて其邊の事宜を取計ひ博覽會場にて陳列品賞上高の幾分を寄附せしむるか或は其出品陳列場の廣狹に聽じて夫れく其寄附額を定むるか兎に角に斯かる公共の事は政府の筋の命令を以て强行力施す可き者に非されば云はゞ出品人中の思附を以て銘々應分の財力を致し之を彼の總覽料凡そ二十萬圓前後の金額を合して扱て博覽會の紀念物をすよ果して何物が適當ならんか目下我が商業獎勵を必要なりとすれば繪畫彫刻陶漆諸器を蒐集して内外美術博覽館を備ふ可きか其邊の考案は總べて之を當局者に譲り要するに今年の内國博覽會には然る可き紀念物を工風して遺芳を後世に傳ふるの覺悟甚だ大切ある可きなり

出で佐用三道に聯絡するを以て事足爲さんもの同地方は西に水岸に容易に破壊されしと氣運ふ者は因幡鐵道を開き双方相互通じて株式の手放すみど諸般の準備書を差出す○名古屋漫遊各地より名物の多さ立ちて見聞は六七十名間も無く百に上り或る一隊に制攻口に當るたり本社のた戯れに左りたり掲げらんと供す

其他會館 一切は閉場後悉く取り崩す筈なれども機械館は後に留めて軍人の調馬場とあし又彼のアメニエルの高塔は兀立千尺古今未曾有の偉物として永く同博覽會の紀念に供すと云ふ右等は國家事業にして其紀念物の偉大なるは固より怪しむに足らざれども近年歐洲の景況を見れば單に一地方の博覽會にして往々紀念物を有するものあり例へば千八百八十七年即ち英女皇即位五十年祭の節マンナエスターに開きたる者、同八十八年即ち一昨年五月よりグラスゴーに開きたる者は博覽會打ち止めの後、出入金額を計算して差引四萬磅内外の餘剰を生じたるを以て之を美術館其他工藝獎勵の用に

明の恩澤を  
念ありと云  
けて甚しく  
とは先づ以  
る別天の  
の有志者も  
者と色々な  
方の有志者  
ものを敷設  
と昨年來雙  
し最早既に

繋るみとの斯  
くべし就中山  
山陽道の方よ  
て其僻遠ある  
ある者にやと  
常に之を憚り  
配する中に近  
は播州姫路邊  
して山陰、山陽  
方の有志者相  
線路の観測を

くも厚渕あり。陸道筋の如きを  
り始めて入り、驚くと共に、思ふはてなり。  
何とかして往々聞く所に據  
る言葉家と謀  
陽兩道の交通  
互に往来奔走  
も遂げ工費稼

とは如何にもりは往來の不<sup>よ</sup>解<sup>ふ</sup>込みたる旅客<sup>よ</sup>どみに日本<sup>に</sup>も左れば山陰地<sup>じ</sup>圖<sup>ず</sup>の便<sup>びん</sup>を聞かれば因州鳥取<sup>とねり</sup>り因幡鐵道<sup>いはんてつどう</sup>を便<sup>びん</sup>ならしめんとして其計畫<sup>かくせん</sup>を算<sup>さん</sup>の如きも荒

◎横濱市役所  
田市長在職  
上に多少  
市長就職  
矯正し尙  
吏員を淘汰  
新したり  
○慈善貢  
設け四月  
折り取り  
完及善育

古  
文

